

## 「身体障害者補助犬」について理解を深めましょう！

### 身体障害者補助犬とは

身体障害者補助犬は、盲導犬、介助犬及び聴導犬のことです。  
「身体障害者補助犬法」に基づいて認定された犬で、特別な訓練を受けています。きちんとしつけられているので、社会のマナーも守れるし、お手入れも行き届いていて衛生的です。



ほじょ犬マーク

- 【盲導犬】・・・目の不自由な人が街中を安全に歩けるようにサポートします。
- 【介助犬】・・・手足が不自由な人の日常生活動作をサポートします。
- 【聴導犬】・・・耳が不自由な人に生活の中の必要な音を知らせ、音源まで誘導します。

### ●街で身体障害者補助犬を見かけたら…

補助犬はペットではありません。からだの不自由な人のからだの一部で、どこでも一緒に行動します。

補助犬を同伴していても、サポートを必要とする場合があります。困っている様子が見られたら、本人に「何かお手伝いすることはありますか？」と声をかけたり筆談でコミュニケーションを取りましょう。

### チェック

#### ●補助犬への接し方

補助犬は外に出たらいつでも工作中です。気が散るようなことをすると、補助犬が仕事に集中できなくなり、使用者に不利益が生じる恐れがあります。

補助犬に声をかけたり、撫でたり、じっと見つめたりするなど気を引く行為は避けましょう。

食べ物を与えないようにしましょう。

公共施設をはじめ、いろいろな場所で補助犬を受け入れることは、「身体障害者補助犬法」で義務づけられています。「犬だから」という理由で受け入れを拒否せずに、あたたかく見守りましょう。

内容についてのお問い合わせは

県人権施策推進課まで

☎073-441-2566

